

令和2年 12月定例会

令和2年12月定例会を、12月4日（金）から12月16日（水）までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市役所支所及び出張所設置に関する条例の一部改正など条例9件、令和2年度各会計補正予算10件、その他の議案4件の合計23議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。

また、先の定例会で閉会中の継続審査としていた、令和元年度の一般会計決算及び各特別会計決算認定案件について、認定いたしました。

最終日には、一般会計補正予算1件、同意案7件及び議員提出議案1件が上程され、原案のとおり同意及び可決いたしました。

（※議案等の審議結果については、11ページに掲載）

会期日程

12月
4日（金）

本会議

▽会期の決定

▽議長報告

▽市長の市政概況報告

▽決算審査特別委員会の審査報告・採決

▽議会改革特別委員会の中間報告

▽西九州自動車道整備促進特別委員会の中間報告

▽鷹島海底遺跡保存活用特別委員会の中間報告

▽市長提出の諸事項報告

▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託

5日（土）・6日（日）
休会

7日（月）・9日（水）
本会議

▽一般質問

10日（木）・11日（金）
委員会

12日（土）・13日（日）
休会

14日（月）
委員会

15日（火）
休会

16日（水）
本会議

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽議案の追加上程・説明・審議

▽議員提出議案の追加上程・説明・審議

12月
4日（金）

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。



次の定例市議会は

3月です。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコン、スマートフォン等で視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<https://www.city-matsura.jp/>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

Tel (0656) 72-1111

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内（答弁と関連質問を含む）という取り決めになっています。

今定例会では、12月7日から9日までの3日間で11人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



谷口 議員

○新型コロナウイルスによる地域経済への影響と回復へ向けた本市の取り組みについて

質 地域経済への甚大な影響を踏まえ、経営維持支援金やプレミアム付商品券の販売等の各種施策が実施されている。今後もコロナによる影響を踏まえ、状況に応じた経済対策を打ち出すことが重要であると考え、市長のご所見を伺いたい。

市長 感染拡大の状況や市内経済への影響を見ながら、これまで実施してきた施策の効果の検証、さらに、国や県が実施する対策と併せ、その時々により必要となる対策を検討していきたいと考えています。

質 コロナの影響により、観光や飲食等の産業において需要の大きな減少や利用者の意識変化が指摘される中であり、今後の「アジフライの聖地」としての展望を伺いたい。

市長 コロナ禍の状況で観光の誘客を図るには、大変な手間がかかりますが、店舗と観光客の皆様双方の感染防止対策が重要です。その上で、おいしいアジフライの提供をそれぞれの店舗の皆様方に続けていただくことと併せて、アジフライグッズの開発として、今年度、モニタメント

制作やお菓子の開発、お土産品の開発を行い、さらなる誘客につなげたいと考えます。加えて、日本地域情報コンテンツ大賞2020で日本一の大賞を受賞した「meetsまつら」を全国に広げていく取組が必要だと思っています。広く松浦市の存在を知っていただき、地域のいろんな経済活動につながる行動をとっていただけるような取組を進めていきたいと考えます。

○子育て環境の充実へ向けた本市の取り組みについて

質 令和3年4月に県立佐世保特別支援学校の田平分校が開校予定となっている。保護者の送迎による通学となると負担が大きいのと考えるが、県に対してスクールバスの運行を要請すべきではないか。

福祉事務所長 県によると、北松分校はスクールバスを運行するための一定の要件を満たしていないと伺っています。

質 現在、市事業として佐世保特別支援学校まで通学支援バスを運行している。同校田平分校へも同様に支援バスの運行を検討すべきではないか。

福祉事務所長 今後、北松分校に通学する児童生徒が決定された後に、児童生徒の中で通学支援バスの利用を希望する方がいる場合には、北松分校への通学支援バスの運行を考えていきたいと思っています。

一般質問



徳田 議員

○支所・公民館の改修について

質 福島公民館の現状は、和室の床はシロアリ被害、天井は雨漏り、建物の柱と壁はクラックがあり、避難所として危険と思われる。新築された学校体育館の活用は考えられないのか。

防災課長 関係機関とも調整し、最初に開設する避難所として、福島養源小学校と福島中学校の体育館に変更できないか検討したいと思っています。

質 松浦市の公共施設では福島支所が一番古く、福島公民館が二番目に古い。福島公民館より8年も後にできた調川公民館が先に新築された。福島支所は、福岡の西方沖地震でもクラックが増え、福島小学校の解体工事で壁が崩落した。非常に危険度が増している。また、平成30年の耐震機能診断で耐震性が無い結果となっている。早急に福島支所と公民館の整備をするべきではないか。

会計管理者 公共施設等総合管理計画に基づき、今年度末までに個別施設計画をつくるようにしています。その個別施設計画の中で、福島支所と福島公民館を併設した施設をいつどのように造るかなどを検討していきます。

○公共交通網整備について

質 台風9号・10号で福島の福島橋が壊れた。2・3人の利用でも住民福祉ではないか。災害復旧で早急に復旧できないか。また、復旧費はどのくらいか。

水産課長 台風により崩落した床板部分の原形復旧だけであれば公共土木施設災害復旧事業の活用之余地がありました。現状として鉄骨部の腐食が全体的に進行しているなど以前からの劣化部分が大変大きな問題で、それにかかる費用も多額になることから、床板の原形復旧だけでは安全性が到底確保されないと判断されたところです。また、復旧費についての詳細な設計や見積りはありませんが、当初の整備費からすると約1億1000万円と想定されます。

質 福崎橋の復旧ができないのであれば、福崎地区を含めた福島全体の公共交通網の整備が早急にできないか。

地域経済活性化課長 福島町の全体的な交通再編の中で、予約制乗り合いタクシー導入の取組をなるべく早く実現できるように取り組んでいきたいと思っています。

このほかに、「全島公園化について」「福島大橋の改良について」質問しています。

一般質問

鈴木
立議員

○終息の目途がたない中、新型コロナウイルスに対するそれぞれの現況と今後新たな市の対応について

終息の目途がたない新型コロナウイルス対策の現況と今後の新たな市の対応について次の2点伺う。

質 ひとり親で乳飲み子や保育所、幼稚園に通う幼児を育てることは大変な生活負担とともに精神的負担を背に非正規雇用で収入不安定状況の中、雇用を打ち切られた方々は深刻さを増して暮らすこととなる。この方々への行政として限りなく寄り添った施策対応がより一層必要であるが、このことについて、どう対応しているのか。また、今後の新たな対策を伺いたい。

子育て・こども課長 児童扶養手当受給者等に対し、ひとり親世帯臨時特別給付金を支給しました。また、個別の聞き取りを行い、それぞれの相談に応じて必要な支援につなげています。さらに、母子父子寡婦福祉資金の案内通知やひとり親家庭が活用できる様々な支援制度を12月の市報に掲載し周知しました。今後も関係部署と連携しながら相談にきめ細かく対応したいと思えます。

質 農業、漁業、商工業の方々へのこれまでの新型コロナウイルス対策の現況と今後新たな施策を伺いたい。特に、小規模商店、事業者は新型コロナウイルスで深刻な影響を受けている。実情をしっかりと把握し実効性のある施策を講じていただきたい。

農林課長 農産物の価格は安定しており、施策の効果により、影響はある程度緩和されていると感じています。

水産課長 再拡大の懸念があり、不安を抱えています。これまで漁協を中心とした各種支援事業をしてきましたが、今後の情勢や国、県の動向を注視し、迅速に対応できるよう、関係者と連携を密にしていきます。

地域経済活性化課長 厳しい状況に入っているかと思えます。今後、プレミアム付商品券や宴会型宿泊拡大キャンペーンを実施します。

○緑化保全対策について

質 緑化保全対策について伺いたい。市内全域高齢化が影響しているのか、民家周辺及び公道、公共施設、校庭、林道、通学路において危険を伴う環境である。年々荒廃していることで四季の風景が薄れている。森林保全、緑化保全は急務である。市の対策を伺いたい。

農林課長 森林の所有者が管理できない場合、市が所有者に意向調査をし、協議の上で、市や森林経営体、組合等に委託することができます。

一般質問

神田
議員

○児童虐待の現状と対策について

質 松浦市の児童虐待の過去3年間の推移についてお尋ねしたい。

子育て・こども課長 【平成29年度25件】身体的虐待9件、心理的虐待4件、ネグレクト（育児放棄）12件。【平成30年度21件】身体的虐待4件、心理的虐待8件、ネグレクト9件。【令和元年度26件】身体的虐待7件、心理的虐待8件、ネグレクト11件となっています。

質 児童虐待の疑いのある保護者に対する指導についてお尋ねしたい。

子育て・こども課長 保育所から虐待の疑いの相談があった場合は、すぐに児童を確認して、保護者と面談を行います。その際に子育ての困り感や状況などを確認し、体罰以外の対応方法や相談先を知らせています。その後、関係機関と連携して必要な支援を行います。学校や保育施設を利用していない場合は、自宅を訪問して虐待の有無を確認し、困ったときの対処法を指導しています。

質 産前産後の母親に対する相談及び指導体制についてお尋ねしたい。

子育て・こども課長 妊娠届のときに、家庭状況や健康状態を把握し、マタニティ教室で出産に向けた支援を行いながら、妊娠期からのサポートを行っています。出産後も赤ちゃん

訪問や各種検診、乳幼児相談などの機会でも虐待の早期発見や予防に努めています。

質 学校で虐待の疑いが発見された場合のルールについてお尋ねしたい。

学校教育課長 教職員は発見後速やかに管理職に報告し、管理職から子育て・こども課と学校教育課に速やかに報告されます。その報告を受けた場合、子育て・こども課と情報共有し、迅速に対応しています。

○鷹島神崎遺跡保存管理計画書及びガイダンス施設について

質 保存管理計画書の短期目標の総括についてお尋ねしたい。

文化財課長 短期目標の期間に予定していた13事業のうち、12事業を達成することができました。

質 保存活用検討委員会（仮称）が設置されていない理由についてお尋ねしたい。

文化財課長 鷹島神崎遺跡だけでなく、市内の文化財の活用を目指すため、文化財保存活用地域計画を考えており、同計画の策定協議会を設けて方針を示したいと思えます。

質 ガイダンス施設の入館者が減少傾向であるが、その原因についてお尋ねしたい。

文化財課長 団体客のバスツアー等の減少で多大な影響を受けています。今後、ガイダンス施設の元寇を映像で紹介するコーナーのリニューアルやヘッドマウントディスプレイのコンテンツ追加に取り組めます。

一般質問

安江
議員

○星鹿小学校区対象のまちづくりについて

質 星鹿町内出生数の推移はどうか。
子育て・こども課長 合併当時は年間15人前後でしたが、近年は年々減少傾向です（平成27年度10人、28年度10人、29年度7人、30年度8人、令和元年度5人）。

質 不妊治療を受ける方への交通費助成の考えはありませんか。

子育て・こども課長 交通費助成についても今後検討します。

質 以前から「住宅政策は重要」との答弁ですが前進しておらず、どう考えられていますか。

都市計画課長 地域の産業や暮らしとの親和性も含め、空き家の有効利用が効果的であると考えています。
質 星鹿町内の空き家活用の住宅数の目標はいくらですか。

市長 現時点で具体的な数値を持ち合わせているわけではありません。

質 生活交通の利便性拡充について、検討はどう進みましたか。

地域経済活性化課長 全国の事例を参考に検討しましたが、本市とは環境や事情が異なりましたので、今後も検討を続けます。

○新水産加工団地用地造成について
質 事業の内容、地元説明会での意見等についてお尋ねします。

水産課長 事業内容は、県営の廃棄物護岸整備事業で、事業費は約60億円、護岸延長870m、埋立面積14.7ha、整備期間約10年となっています。説明会での意見等については、漁協の理事会からは、まずは地元関係漁業者へ説明すべきとの意見でした。地元漁業者からは、藻場干潟など生物の育成場として残すべき、赤潮の発生を助長するのではないか、地元漁業者にあまりメリットがないとの意見でした。調川町周辺住民からは、大雨時に河口周辺で洪水のおそれがある、廃棄土砂の悪臭が懸念される、近辺の神社へのアクセスの確保が必要との意見でした。魚市場及び加工団地関係者からは、完成はいつになるのか、水産加工に限定すべきではないのではないかと、現在ある陸上養殖施設で工事に伴う取水や騒音の問題が懸念されるとの意見でした。

質 今後どうされるおつもりですか
市長 これまでいただいた関係者の皆様の様々な御意見をしっかりと受け止め、それぞれの課題に対しできるだけの方策を講じながら事業を実施していきたいと考えており、引き続き関係者の皆様へ丁寧な説明を行い、御理解が得られるよう努力していきたいと考えています。

一般質問

武辺
議員

○西九州させば広域都市圏における本市の取組状況について

質 連携協約を締結している32事業の中から代表的な事業の締結内容とこれまでの具体的取組、効果をお知らせください。

政策企画課長 【図書館】佐世保市の図書館と相互利用・利用者登録・貸出を行っており、図書の貸出し数が増加しています。【療育】佐世保市子ども発達センターの医師等が学習会を開催し、療育関係者のスキル向上や小中学校職員と事業所職員の連携が図られています。【農水産物等】国内外での消費拡大に向けたイベントや情報発信、商談機会の創設を図り、販路拡大を推進しています。

質 この連携協約は佐世保市が中心となっており、事業が殆どですが、松浦市が事業の中心となっており、連携協約はありますか。

政策企画課長 工業団地の造成、企業誘致推進事業により、圏域内の住民の雇用を図っています。

質 連携協約締結から約1年半が経ちます。これまでの総括と今後の展望についてお尋ねします。

副市長 市単独でできない事業も佐世保市と共にできることや特別交付税を財源とする財政的メリットを考

えると、この広域連携都市圏構想はとても有効な施策であり、今後も松浦市にとって意義のある事業については、積極的に展開していかなければいけないと考えています。

○文化財の保存と活用について

質 市指定史跡は旧松浦市が1か所、福島町が6か所、鷹島町が9か所となっており、天然記念物指定は福島町の6か所のみとなっていますが、この指定に至った経緯をお知らせください。

文化財課長 文化財の指定は、松浦市文化財保護条例に基づいています。現在ある指定文化財は、合併前の旧市町の指定文化財であり、旧市町の基準で指定されていたものです。

質 旧長醫家住宅主屋は、一般の台風等で老朽化が進んでいます。建物自体を保存活用するほどの投資を行ってこなかったことが原因だと考えますが、市長の見解をお聞かせください。

市長 実際に私が市長に就任してから投資していないわけですが、活用策を見出さなければ適切な投資ができないため、その結論を出す時期に來ていると考えています。

質 平成4年に刊行された「まつうらの民話」に福島、鷹島の民話を加えて再編、改訂する考えはありますか。

教育長 福島と鷹島を含めた民話の製本について、今後しっかりと検討していきたいと思っています。

一般質問

和田
議員

○「Society 5.0 for SDGs」の実現に向けた取り組み（地方創生SDGs）について

質 SDGsとはSustainable Development Goals持続可能な開発目標の略称であり、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すという国際目標です。SDGs未来都市構想とは、SDGs達成へ向けた地方自治体による優れた取組を提案した都市を選定する国の事業を指します。本市においてもSDGs未来都市に選定されるよう取り組む考えはないかお尋ねをいたします。

市長 SDGsを原動力とした地方創生については、国において今年度からの第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、重要業績評価指標、KPIが設定され、積極的に推進されることとなっています。

本市においても、SDGsの取組推進が地方創生につながるものと考えており、第2期松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略からそれぞれの基本目標の項目ごとに関連するSDGsのゴールを掲げています。今後は、しごと・ひと・まちの各分野における課題解決のため、SDGsの導入を積極的に進めていきたい

と考えています。

御提案のSDGs未来都市への応募については、市内外の様々な利害関係者との連携や連携に基づく自律的好循環の形成が選定基準となっていることから、まずは市民や市内企業、関連機関においてSDGsの考え方や先進事例の普及啓発、研究を進め、その機運醸成につなげていきたいと考えています。

○鷹島海底遺跡の保存活用について

質 鷹島海底遺跡の保存活用について、今後どのようにされていくのか、市長の思いをお聞かせください。

市長 鷹島海底遺跡は、日本の水中遺跡の研究をリードしており、これはこれまで関わってこられた皆様方の功績であると思っています。

先般開催した元寇サミットには、約350人の方に御来場いただきました。また、元寇サミットで披露した「てつはう最中」がSNSで話題になり、多くの問合せが寄せられています。文化財が経済活動に結びつくという可能性を示した好事例だと考えています。これを追い風として、現在取り組んでいる「いかりを引き揚げるためのクラウドファンディング」を何としても成功させたいと考えています。現在の元寇ブームをしっかりと受け止めて、情報発信を努め、世論を盛り上げることで、その先にある元寇船の引揚げにつなげていきたいと考えています。

一般質問

川下
議員

○特別支援学校への移動支援事業について

質 現在松浦市が行っている特別支援学校への移動支援事業の対象拡大を要望する質問です。来年度田平町に支援学校の北松分校が設置されるが、通学支援についてどのようにお考えか。

福祉事務所長 北松分校に通学する児童生徒が決定された後、通学支援バスの利用希望者がある場合には、北松分校に1台の通学バスの運行を考えています。

質 移動支援の対象を高校生（高等学校）まで拡大していただきたい。

市長 特別支援学校の高等部へ進学され公共交通機関を使って通学されるということは、その後の社会生活を自立していく上でも大切な一つの訓練であるのではないかと考えます。支援が必要なのは全ての生徒たちが公共交通機関を使って行けるかどうか、保護者の皆様方は不安に思っておられるだろうと受け止めています。対象を高校生まで拡大するにはヘルパーの確保が課題でありますので、まずは北松分校に通学する児童生徒への通学支援を実施し、現状の課題等を精査した上で検討したいと考えます。

○災害時の対応の検証と安全な避難所の確保について

質 の台風10号では多くの方が公設避難所に避難されたが、感染症対策の観点から分散避難が進められている。しかし、地域の公民館は強度が低いなどの理由から避難所として開放できなかった地域もあると聞く。より実効的な分散避難を促すためにも地域の公民館の飛来物などに対する強化が必要である。そこで、地域の公民館に対する雨戸やシャッターの設置等防災面の強化に対する市の補助金を創設していただきたい。

市長 自主防災組織の組織化や分散避難を推進する上でも、避難場所とするために自治公民館を補強する補助制度を新設するに当たっては、自主防災組織を設立し、その自治会内で自治公民館を分散避難場所として設置する場合に限り適用するというような制度を設けられないか検討していきたいと考えます。

質 同様の要望を国県にしていたいただきたい。

市長 コロナウイルス禍での分散避難の呼びかけの中、これまでに経験がないほど避難が多かった状況は、同様の課題を抱えた県内の自治体にもあるのかと考えます。まずはそれぞれ情報共有を図り、市長会などで国、県などへの要望ができないか検討したいと考えます。

このほかに、「鷹島の風力発電機倒壊と住民の安全の確保について」「福崎棧橋の改修及び住民サービスの実現について」質問しています。

一般質問



山岡 議員

○モンゴル村・つばき荘の今後のあり方について

質 市長は、かねがね松浦市の活性化を図るためには、交流人口対策が重要だと言っておられるが、鷹島地域には、元寇に関わる多くの題材があり、特にモンゴル村と神崎海底遺跡、それらを活用し鷹島地域が持っている新鮮な海の食材等を総合的に活用した地域づくりを行う必要があると考えますが、市長の考えは。

市長 モンゴル村が鷹島地域にとって重要な観光の核となる施設であると考えていますし、元寇終焉の地として、最近は多く取り上げられ、注目が高まっています。こういうものをしっかりとPRし、多くの方にまずは鷹島を訪れていただき、素晴らしい景色や非常においしい農水産物等を食していただいて、地域に賑わいを興していく、これを盛り上げるのが私どもの務めと思っています。

質 モンゴル村からバイオパークが撤退されてから4年以上経ちますが、その後の動きとして、市長は、ある大手観光会社の社長さんがモンゴル村に興味を示していただいておりますので訪問して誘致のお願いをしたいと言われましたが、その後どの

ようになりましたか。

市長 企業様としてはまだめどが立たないとのことなので、現時点ではほかの誘致を目指して取り組んでいくところです。

質 モンゴル村に企業が誘致できるまで、自由に草原又は自然を満喫したり、最近注目を浴びているキャンプ場等のアウトドアとして利用したりするといった運営の方法についての市長の考えは。

市長 コロナ禍による空前のキャンプブームの到来で、モンゴル村の利活用が増え知名度を上げることは、将来的な活用を図る上でも歓迎したいと考えており、キャンプという形での利用ができないか、開門時間や管理体制などの課題の整理をした上で、実現可能な具体的に検討したいと考えます。

○鷹島神崎遺跡の今後のあり方について

質 鷹島の観光の目玉の一つとして神崎海底遺跡があるわけですが、市長は今後どのようにされたいと思いますか。

市長 長年にわたって積み上げられた成果を生かし、国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書に基づき、着実に事業を進めたいと考えます。市民の皆様や関係団体の御協力をいただきながら、国内外に注目される水中遺跡の町として、日本の水中考古学の拠点を目指していきます。

一般質問



武部 議員

○史跡松浦党梶谷城跡保存整備基本計画の早期実現について

質 梶谷城跡保存整備基本計画書が県や学識経験者で約3年かけて、多額の経費もかけ策定されているにもかかわらず、計画が実現できなかった理由を説明してください。

文化財課長 史跡松浦党梶谷城跡保存整備基本計画では、平成5年から平成14年までの10年間で保存整備を行う計画が立てられていました。平成15年度に駐車場の舗装や便所の建設を行ったものの、文化会館の建設や不老山総合公園の整備など、大型事業が実施されたことと、基礎調査が計画どおりにできなかったことが大きな原因です。

質 元寇サミットやアンゴルモア、西海一の水軍松浦党の漫画によって観光客が増加している今がチャンスなので、梶谷城跡を整備すべきではないか。

文化財課長 現在作成を進めている文化財保存活用地域計画の中で、まちづくりや観光事業など他の行政分野と連携して、総合的な保存活用を進めていく枠組みをつくり、市全体の文化財を包括したところで検討していきます。

○つばき荘の運営について

質 令和3年4月からの指定管理者つばき荘を原点に立ち返るとして自主運営を条件に公募されたが、応募がなかったということですが、オープン当初から毎年度赤字経営の厳しい状況であり、温泉設備の不備、客室にはシャワーや風呂がない、地域の人の利用度が高い宴会場が狭く、経営コンサルタントの方は現状では誰が経営しても赤字の解消はできないと言われているので、費用対効果を基に改修を検討すべきだと思う。市長は、つばき荘は福島町の振興に当たってなくてはならない施設だと言われながら、宿泊施設の継続を条件に売却も選択肢とするとされています。ならば、公設民営で補助金を入れてでも運営すべきではないか。

市長 福島地域における公共施設の更新など様々な行政課題がある中で、さらに引き続き指定管理料を払い続けていくことが正しい判断なのかどうかを考えるときに、やはり原点に立ち返って、つばき荘を何とか存続させるために必要な事業者を全国から公募し、その企業が経営方針に基づいて設備更新をされるのであれば、それについて松浦市がその施設の改築に係る費用の一部を負担するというところで現在取り組んでいるところです。

現時点においては、指定管理料をお支払いせずに、つばき荘の運営を担っていただける事業者の誘致にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

一般質問



宮本 議員

○調川港湾整備事業について

質 調川の第二水産加工団地は、国や県にお願いして、実に、国と県が80%以上を助成する大型事業です。この事業の推進については、地元漁協等の同意が必要ですが、地元同意を得るための市長の決意を伺います。

市長 新たな加工団地用地の造成に伴う埋立ては松浦市の持続可能なまちづくりを行う上で、新たな産業基盤の構築に欠かせないと思っています。

政府が2050年のカーボンニュートラルというものを打ち出され、市税収入の柱である発電所の存続についても非常に難しい状況になってきている中で、松浦市の新たな産業基盤を作っていくためには非常に重要なプロジェクトであると認識していますので、関係皆様方の御理解を得られるようしっかりと取り組んでいきたいと強く覚悟を持っています。

○国による非効率石炭火力発電所を対象とした段階的な休廃止に関する議論について

質 この問題は、当市存亡の危機に

関わると認識を持っているのですが、政府の脱炭素に向けて代替をするのか、議会と共に、県や両電力とも相談して手を打つべき問題と考えていますが、この問題について、今後の市長の考え方を伺います。

市長 県内の西海市や熊本県の苓北町とどのような対応を取るかを協議しました。また、九州電源立地地域協議会で九州経済産業局と資源エネルギー庁にそれぞれ要望に行き、この問題について十分な地域の環境について承知していただきたい、そして、廃止に伴う相当な影響について配慮していただきたいということをお願いしてきました。

今後については、県の産業労働部長とお会いして、この問題に県と共にどのような取り組みをいくかを協議しています。引き続き、国に対しては、今後、カーボンニュートラルに向けた新たな施策を国、電力事業者へ求めていただくように、CO2の処分方法やリサイクル手法などを研究していただき、何とか現施設を存続できないか、こういったことを求めていると考えています。

このほかに、「史跡松浦党梶谷城跡保存整備基本計画の実行について」「元寇サミットと観光対策について」「企業版ふるさと納税の取り組みと進捗状況について」「モンゴル交流事業について」質問しています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

〔議案〕令和2年度松浦市一般会計補正予算(第8号)(関係分)

(歳入) 補正額1億6215万2000円を減額補正いたしました。減額の主なものは、災害復旧工事額の確定によるものや令和2年度決算見込みによる減額であり、この補正による補正後の予算総額は249億2170万5000円となりました。

また、前述のほか、台風9号及び台風10号によって被災した施設等に係る復旧支援事業費の計上や国費、県費の内示などによる事業費の調整などがありました。

〔議案〕松浦市防災行政無線整備工事請負契約の締結について

松浦市防災行政無線整備工事請負契約の締結が可決されました。この事業は、整備から17年近く経過し近年では機器の老朽化が著しくなってきたことや、電波法の改正に伴い旧規格の使用期限を迎えることから、松浦市全体においてデジタル化を整備するものであります。あわせて、災害対策、防災体制の強化を図

るものであります。

文教厚生委員会

〔議案〕松浦市立保育所設置条例及び松浦市立保育所の管理に関する条例の廃止について

この条例については、令和3年4月1日から松浦市立調川保育所が民間に移行するために、松浦市立調川保育所を廃止することに伴い、条例を廃止するために提出されたものです。

〔議案〕松浦市立公民館条例の一部改正について

この条例については、松浦市立調川公民館新築工事が完了し、位置及び使用料を変更することに伴い、条例の一部を改正するため提出されたものです。なお、松浦市立調川公民館の新しい住所については、松浦市調川町下免592番地7となっています。

〔議案〕令和2年度松浦市一般会計補正予算(第8号)(関係分)

本年度末までに、子育て・こども課内に子育て世代包括支援センター



を設置するための準備が進められており、子育て世代包括支援センターに配置する助産師雇用のための予算24万4000円が計上されました。

子育て世代包括支援センターは、全国展開により、どの市町村に住んでいても妊産婦及び乳幼児等が安心して健康な生活が送れるように、利用者目線での支援が期待されています。

子育て世代包括支援センターの必須業務は次のとおりです。

- (1) 妊産婦・乳幼児等の実情を把握すること。
- (2) 妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行うこと。
- (3) 支援プランを策定すること。
- (4) 保健医療又は福祉の関係機関との連絡調整を行うこと。

子育て世代包括支援センターには、保健師等を1名以上配置することとなっていて、妊娠期からの支援を充実させるために、助産師を配置することとした。

産業経済委員会

【議案】松浦市法定外公共物管理条例例の一部改正について

法定外公共物の占有者が果たすべき原状回復義務を明確にすることに伴い、条例の一部を改正するものであり、妥当と認めました。

【議案】令和2年度松浦市一般会計補正予算（第8号）（関係分）

黒島交通船改修事業として2042万2000円が計上されました。鷹島と黒島間における地域住民及び就労者の交通手段かつ原子力災害時における避難手段の一つである黒島交通船について、老朽化していることから大規模改修を行うための予算計上であり、妥当と認めました。

農業用ハウス等の災害等対策支援事業として1295万2000円が計上されました。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い経済活動が停滞する中、台風9号、10号により被災した農業者等に対し、営農継続のための施設復旧を支援するための予算計上であり、妥当と認めました。

養殖施設等の災害等対策支援事業として1296万4000円が計上されました。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う厳しい経営状況の中、台風9号、10号により被災した養殖業者等に対し、経営継続のための施設復旧を支援するための予算計上であり、妥当と認めました。

その他各委員会の活動

【議会改革特別委員会】

令和2年3月以降、主に次の3項目について調査・協議を行いました。

①議会のICT化推進について

議会運営の活性化及び議会・議員活動の効率化を図ることを目的に、電子データによる議会関連資料の共有、情報の伝達・共有及びペーパーレス化会議を実施するために、10月にタブレット端末を導入しました。

②議員定数について

人口減少が続く中で、議員のあり方をどのように考えるかについて、議会基本条例の制定に向けた協議と

中、台風9号、10号により被災した養殖業者等に対し、経営継続のための施設復旧を支援するための予算計上であり、妥当と認めました。

特定空家等措置事業として1030万円が計上されました。空家等対策の推進に関する特別措置法及び松浦市空家等対策計画に基づき、倒壊等の危険性が高い1件の空き家について、行政代執行による除却を行うための予算計上であり、妥当と認めました。

合わせ、他市の状況や市内各町の選出状況、市民アンケートの結果等を参考に検証を行いました。検討の結果、議員定数については、次の一般選挙から一人削減し、16人とすることに決定しました。

③松浦市議会災害対応方針の策定について

議会基本条例の制定に向け、大規模災害の発生時における議員の行動について協議を行いました。国内においては、地震、台風、集中豪雨、大規模水害などの大規模な自然災害が毎年発生しており、火災や原子力発電所の事故等による事故災害、伝染病の爆発的な蔓延等、様々な危機が考えられます。松浦市議会においても、新型コロナウイルス感染症対策や9月の台風10号接近に伴う定例会の日程変更を行ったことから、その必要性を認識し策定することを決定しました。



タブレット端末

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

今回の活動は、新型コロナウイルス対策のため規模を縮小し、委員長及び議長の出席のもと次のとおり行動しました。

伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、11月4日に国土交通省九州地方整備局長に対し、また、11月18日及び19日に国土交通省、財務省及び自民党本部並びに長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成、道路整備予算の安定的な確保を要望いたしました。

それぞれにおいて、さらなる事業進捗のため、地元自治体と一致協力して取り組んでいきたいとの回答をいただきました。

※写真は、撮影のときだけマスクをはずしています。



中央要望・国土交通省

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

12月22日に鷹島海底遺跡保存活用特別委員会を開催し、次の3名を参考人として招聘して、本会議場において意見を伺いました。

- ・秋野公造（参議院議員）
- ・池田榮史（琉球大学教授）
- ・稲沢文員（松浦商工会議所会頭）

今回は、本特別委員会として鷹島海底遺跡の保存と活用及び水中考古学の未来についてそれぞれの立場からお話を伺い、今後のあり方を議論していく上で参考とすることを目的として実施いたしました。

参考人として招聘した理由としては、長年鷹島神崎遺跡に対する学術研究の実績から保存に関する御意見として池田教授に、当遺跡を観光資源としてどう活用していくのか、地方創生の立場からの活用に関する御意見として稲沢会頭に、そして、補



中央要望・財務省



池田参考人



秋野参考人

助金などが関係してくる国の動向については、立法府の立場としてこれまで鷹島神崎遺跡について国会や委員会などで何度も取り上げられていることや、池田教授と共に実際に海底に潜り現物を見ておられることなどの実績から秋野参議院議員をそれぞれ選任いたしました。

11月臨時会

11月27日に臨時会を開催し、議案3件を審議しました。
審議結果は、次のとおりです。

●松浦市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について

・・・可決

●松浦市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について

・・・可決

●松浦市職員の給与に関する条例及び松浦市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について

・・・可決



稲沢参考人

議会日誌



11月

4日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会要望活動（福岡市）

5日◇全国市議会議長会理事会・評議委員会合同会議（東京都）

9日◇決算審査特別委員会

10日◇議会改革特別委員会

12日◇各派代表者会

17日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

18日・19日

◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会中央要望活動（東京都）

24日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

27日◇11月臨時会

◇議会運営委員会

12月

4日・16日

◇12月市議会定例会

8日◇広報特別委員会

9日◇議会運営委員会

16日◇議会改革特別委員会作業部会

21日◇議会改革特別委員会

22日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会（参考人招致）

24日◇まつナビ

1月

8日◇議会改革特別委員会作業部会

14日◇議会改革特別委員会

19日◇広報特別委員会

表紙写真の募集

松浦市議会だよりの表紙写真については、随時、募集しております。皆様からの応募をお待ちしております。

募集に関する詳しい内容については、市議会ホームページの「まつうら市議会だより表紙写真募集要項」をご覧ください。

※松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



議案等の審議結果

条 例	☐ 松浦市役所支所及び出張所設置に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市税条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市立保育所設置条例及び松浦市立保育所の管理に関する条例の廃止について	可決（全員）
	☐ 松浦市法定外公共物管理条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市立公民館条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市火災予防条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決（全員）
予 算	◎令和2年度松浦市一般会計補正予算（第8号）	可決（全員）
	※令和2年度松浦市一般会計補正予算（第9号）	可決（全員）
	☐ 令和2年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	☐ 令和2年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）

予 算	☐ 令和2年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	☐ 令和2年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	◇令和2年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	☐ 令和2年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	◇令和2年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	◇令和2年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	◇令和2年度松浦市水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全員）
その他	☐ 松浦市文化会館の指定管理者の指定について	可決（全員）
	○松浦市防災行政無線整備工事請負契約の締結について	可決（全員）
	☐ 鷹島地区小中学校校舎改築 建築工事請負契約の変更について	可決（全員）
	☐ 鷹島地区小中学校校舎改築 機械設備工事請負契約の変更について	可決（全員）
認 定	▼令和元年度松浦市一般会計の決算認定について	認定（全員）
	▼令和元年度松浦市青島診療所事業特別会計の決算認定について	認定（全員）
	▼令和元年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計の決算認定について	認定（全員）
	▼令和元年度松浦市国民健康保険特別会計の決算認定について ほか4件	認定（全員）
	▼令和元年度松浦市下水道事業特別会計の決算認定について	認定（全員）
	▼令和元年度松浦市松浦魚市場特別会計の決算認定について ほか1件	認定（全員）
	▼令和元年度松浦市工業団地造成事業特別会計の決算認定について	認定（全員）
同意案	※松浦市教育委員会委員の任命について	同意（全員）
	※松浦市公平委員会委員の選任について	同意（全員）
	※松浦市固定資産評価審査委員会委員の選任について（5件）	同意（全員）
議員提出議案	※松浦市議会議員定数条例の一部改正について	可決（多数）
（注）文頭の記号は審査の付託先を表しています。 ◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査 ○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会 ▼・・・決算審査特別委員会		

編集後記

新年おめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、感染拡大防止対策により外出自粛や学校休校、イベント行事の中止や縮小等により経済への様々な影響を及ぼしました。

松浦市議会においてもコロナ対策で一般質問の縮小や傍聴制限、リモート会議、議場・委員会室の換気、消毒、会議参加人員の整理などソーシャルディスタンスを徹底した会議を行ってまいりました。我が国で新規感染者数が記録更新され続ける中、厳しい本年のスタートとなりましたが今年こそコロナが終息すると信じ、七転び八起きの精神で乗り切りましょう。

（誠）

広報特別委員会
委員長 谷口 一星
副委員長 和田 大介
委員 山崎 誠也
委員 川下 高広
委員 神田 稔
委員 徳田 吾
委員 吉富 志